## 若者アンケート調査項目

区分	No	質問	趣旨	参考とした国調査等
基本情報	1	年齢	基礎データ	〇こども・若者の意識と生活に関する調査
	2	性別	基礎データ	○こども・若者の意識と生活に関する調査
	3	居住地	基礎データ	
	4	   17歳までの大半を過ごした場所	広く学生にアンケート実施の周知を行う予定のため、出身 地を答えてもらい、分析の精度をあげるため	
	5	同居家族	基礎データ	〇こども・若者の意識と生活に関する調査
	6	現在の就学・就労状況	基礎データ	〇こども・若者の意識と生活に関する調査
	7	在学している学校	基礎データ	〇こども・若者の意識と生活に関する調査
	8	結婚の有無	基礎データ	
	9	子どもの有無・人数	基礎データ	
自身のこと	10	今の幸福感	成果指標	〇こども・若者の意識と生活に関する調査
	11~14	自己認識	成果指標	〇こども・若者の意識と生活に関する調査 〇こども政策の推進に関する意識調査
	15	今のくらしの満足度	成果指標	○松山市 ○こども・若者の意識と生活に関する調査 ○こども1万人意識調査 ○松山市
	16	その理由(自由記述)	満足していない要因分析や支援, 施策の検討資料とするため	
居場所	17	孤独感	孤立傾向の有無を把握	〇こども・若者の意識と生活に関する調査
	18	<u>困ったときに頼れる人や場所の有無</u>	成果指標	〇こども・若者の意識と生活に関する調査 〇高知県子どもの生活実態調査 〇姫路市、松山市
	19	普段よく過ごす場所	実際の居場所利用の傾向を把握	
	20	「居場所」の有無		
	21	(問20で「ある」と答えた人) 「居場所」はどこか	居場所の検討に関する基礎資料とするため	〇こども・若者の意識と生活に関する調査 〇こどもの居場所に関するアンケート調査 (こども家庭庁) 〇姫路市、松山市
	22	(問20で「ない・「わからない」」と答えた人) 「居場所」がない・わからないと答えた理由		
	23	「あなたにとっての居場所」と感じられるために必要なこと		〇こどもの居場所に関するアンケート調査 (こども家庭庁) 〇姫路市、松山市
	24	(問20で「ない・「わからない」」と答えた人) 地域に若者の居場所があったら行きたいか		〇姓四印. 拉田印
若者の声を聴く取組	25	高知市に若者の声が反映されていると思うか	若者の声を聴く取組について検討するに当たり、基礎資料 とするため	
	26	自分の意見を届けやすい方法は何か		〇姫路市,松山市,世田谷区
	27	意見を届ける仕組みがあれば参加したいか		
	28	問27の理由		
自身の子どもの頃	29~31	子どもの頃に,大人に意見を聞いてもらい,大事に 扱ってもらえたか		〇こども1万人意識調査
	32	(問29~31で「大事に扱ってもらえた」と答えた 人) そのエピソード	小学生・中学生・高校生の頃と、問9~11の今の幸福度や自 己認識との関係性を分析し、施策の検討の基礎資料とする	
	33	(問29~31で「大事に扱ってもらえなかった」と答えた人) そのエピソード	17c <i>b</i>	
	34	学校に行きづらい・行けなかった経験の有無		
	35	(問34で「あった」と答えた人) その当時に心の支えとなったもの・こと・ひと	高校生までの経験のなかで左記の経験の有無を確認し、今 の小・中・高校生の居場所づくりに活かしていくため	
	36	(問34で「あった」と答えた人) その当時あったらよかったと思う場所やもの		
利の認知度	37~40	こどもの権利についての認知度	<u>こどもの権利に関する認知度を把握するため</u>	〇こども 1 万人意識調査 〇姫路市、松山市
市	41	最後に伝えたいこと(自由記述)	市政への意見等を把握するため	〇姫路市,松山市
見の意	-	このアンケートをどこで知ったか	広報媒体の効果確認	
-	_	相談窓口の周知		